

# 東京都知的財産総合センター

## 知的財産戦略導入支援事業(ニッチトップ)成果事例③

東京都知的財産総合センター(以下「知財センター」)では、中小企業の方々が抱えている知的財産に関するさまざまな問題に対し、『中小企業の知的財産部』として支援を行っています。

なかでも『知的財産戦略導入支援事業』は、知財戦略の導入により経営基盤の強化を図る企業を対象に、東京都知的財産総合センターのアドバイザーが最大3年間の継続的な相談・助言等を行い、専門人材育成や企業内体制の構築等の実践的な支援を行う制度です。

今回は株式会社タンケンシールセーコウが『知的財産戦略導入支援事業』を利用し、いかに知的財産の理解を深め、経営に活かしているかをご紹介します。

### 株式会社タンケンシールセーコウ



同社の主力製品のひとつ「カーボン軸受」

メカニカルシール(各種ポンプ等の軸封装置)および機械用カーボン製品等をコア事業とする独自の技術力、製品を保有している。

代表取締役 渡邊 敏廣  
所在地 東京都大田区矢口3-14-15  
業 種 産業機械部品製造業  
資 本 金 10,000万円

### 【知財管理体制の構築に向けての助走(1年目)】

これまで同社では新製品の研究開発にあたって、同業他社の特許情報を収集・分析し、その結果を研究開発に活用していくための実践的な部分がつかめていなかった。そこで、研究開発戦略の確立を知財の観点から検討し、さらに研究開発の成果の特許権等で確実に保護していくためには、知財戦略の構築と、そのための知財管理体制づくりが急務であった。ニッチトップ支援では、知財に関するこれまでの取組状況と今後あるべき姿についてアドバイザーとの話し合いを基に、同社に即した3年間の支援計画を策定した。1年目は知的財産の基本知識の習得や研究開発に欠かせない先行特許調査手法(調査仕様書の作成と調査技術)の習得、発明提案から出願に至るまでの管理フローの制定、開発テーマ決定の企画会議における知財担当の参画といった戦略実行の基礎固めを行った。

### 【知財管理体制の整備と発生テーマに応じたOJT支援(2年目)】

1年目では個々の基礎知識の向上も重視していたが、同時に社内での知財に係る情報の共有化と知財懸案事項の迅速な対応を行うため、「特許連絡会」の創設を計画していた。この特許連絡会の創設は予定よりも遅くなったものの、1年目に築いた基礎固めの成果もあり、発明提案事項や他社との技術契約等の懸案事項を抱えた各自が、自分の意見をしっかり発言できる意見交換の場が設けられるなど、より充実した形でスタートすることができた。さらに、1年目で習得した先行特許調査の分析と発明提案書フォーマットを活用して開発製品の特許出願を行った。また、発生テーマに応じたOJT支援による実践力の強化を図った。

### 【知財管理体制の構築(3年目)】

1年目、2年目で培った経験を踏まえ、特許出願から権利維持までの一連の管理フローを制定し知財の活用強化と事務管理の合理化を図った。また、懸案事項であった他社特許監視システムを、同社製品の特許分類の特定(100分類以上)、検索式の決定、検索ソフトの導入により確立し運用することができた。これにより、他社の知財を監視し、必要に応じて特許等に係る攻撃・防御の体制が整った。

\*3年間の出願等の実績 出願:特許9件、意匠1件、商標1件、特許7件(支援前からの出願分を含め権利化されたもの)

### ○担当アドバイザーからの一言○

知的財産戦略を策定し、実行できるようにするためには知的財産管理体制の構築が必須ですが、3年間で基本的な部分は構築できたと思っています。専任の知財担当者を置くことができたことも、人材の育成という観点で好ましいことだと思います。今後も常に体制をチェックしつつ、自社に合った管理体制を確立してください。

(東京都知的財産総合センター 知的財産アドバイザー 朝香昌男)

知財セミナーの開催情報とお申込みは知財センターホームページをご覧ください。  
中小企業の皆さまの知的財産に関するご相談も承っております(無料・予約制)

TEL 03-3832-3656 **公社トップページ** → **知的財産**